

地方が直面する様々な問題に、真っ向から立ち向かおうとする小さな町の挑戦——
5カ年計画の後半期を迎えた「美波ふるさと創造戦略」は、今や地方創生のホットワード「美波町モデル」として全国から注目を集めるようになりました。

ひとりひとりが自分事として、住民総参加で進めることを提唱した「美波ふるさと創造戦略」の取り組み、美波町ならではの地方創生を紹介していきます。

美波町映画「波乗りオフィスへようこそ」いよいよ撮影スタート!

今年1月に発表され、着々と準備が進められてきた映画「ポンコツ(仮)」を「波乗りオフィスへようこそ」と正式にタイトルも決定し、いよいよ美波町での撮影が始まりました。

4月24日からは撮影に先立ち、明石監督、赤川映像監督、天野プロデューサーをはじめ、製作スタッフが勢ぞろいして徳島市、阿南市、そして美波町で3日間、また5月12日からは町内由岐地区などで2日間に渡りロケハンが行われました。

この様子は県内のメディアでも多く取り上げられ、また同時にインターネット上で制作費への出資者を募るクラウドファンディングも始まったこともあり、県内外を問わず一層の注目・期待が集まっています。

「波乗りオフィスへようこそ」の主人公は美波町出身。町を出て東京でITベンチャー企業の代表を務めています。業績が上がっていく一方でエンジニア不足という問題に直面します。

地元に残る同級生や地域の人々の協力を得て、サテライトオフィス進出による人材確保という道を開いた主人公・徳永を演じるのは関口知宏さん。

徳永を支える美波の住民として宇崎竜童さん、柏原収史さん、徳永の片腕役には田中幸太朗さんと、いずれも「実力派」と称される個性豊かな面々がキャスティングされています。

美波町では、日和佐地区の有志、各団体などにより美波町映画「波乗りオフィスへようこそ」実行委員会が立ち上げられています。

4月26日、5月18日には第2回、第3回会合を開催し、明石監督、赤川映像監督、天野プロデューサー等、主要な制作スタッフとともに今後の撮影スケジュールや撮影への協力についての確認を行いました。

住民の皆さんの生活のすぐ隣で行われる映画撮影。不便が生じる場合もあるかとは思いますが、温かな気持ちで見守り、応援してください。



4月26日に行なわれた美波町でのロケハンの様子。



美波町映画「波乗りオフィスへようこそ」実行委員会では、「町民の方々からの声援に改めて身が引き締まる思い」とのコメントも。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます!

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぼっぼマリン2階)